



しあわせの杜

しあわせ祈願の宮
本莊神社発行 第17号
〒500-8369
岐阜市敷島町9-24
honjojinja-gifu.gifu-city.net

神者依人之敬増威 人者依神之徳添運

本莊神社宮司 今津 隆弘

鎌倉幕府制定の『御成敗式目』の第一条に「神は人の敬によりて威を増し、人は神の徳によりて運を添ふ」と云う条文があります。日本古来培われてきた「神と人との密接な関係」を的確に表す言葉として、神道の名言の一つとされ、また宮仕えをする私たち神職の基本信条として受け継がれています。

私は、社家出身ではなく、ごく普通の家庭に生まれ育ちましたが、毎年父母に連れられて氏神さまやお伊勢さまへ初詣させて頂く度、時折折域には、世の喧噪とは無縁になる不思議な魅力を感じることはありませんでした。それは、神宮の森の夜明け前の澄み切った空気、常夜灯の灯る長い参道、静寂な杜にこだまする小鳥の囀りや玉砂利を

踏む音、人々の祈りを籠めた拍手の音など、子供心にも何か云いよのない神域の神々しさと清々しさ、そして私たちの感性を魅了する不思議な力を感じたものです。今思えば、これが「神々の息吹」であり、「信仰の力」なのかなと実感しております。

昭和の時代は、戦災復興とともに高度経済成長が著しくな中、物質的には豊かな国となった反面、住宅地や町並み開拓のため自然破壊が続き、「自然と共生」してきた日本人の信仰心の欠如が否めない時代でした。

戦後の政教分離の名の下に、自国の精神文化の根幹を成す「神道」を退け、また自国の歴史認識を否定し、形ばかりの西洋文化摂取に努め、形骸化した日本人を育てました。こうした精神文化の荒廃が殺伐とした社会的事件を起こす要因となっているの

ではないでしょうか。

人々のところが荒廃し、神々に対する畏敬の念と感謝の念が希薄化しつつある今日だからこそ、節目節目に神々を祀ってきた日本人の生活様式を見直したいものです。

平成に入ると、阪神淡路大震災、新潟沖震災、東日本大震災など、災害が数多く続く中、被災地で食べ物の支給を受けるために整然と並ぶ姿や、お互いに助け合う姿は世界の人々を魅了しました。

『教育基本法』の改正により「郷土を愛する心を育む」「宗教的情操教育を育む」の条文から、地域の歴史、文化、伝統芸能を学ぶきっかけが生まれました。

折しも、伊勢神宮の式年遷宮や、出雲大社の式年遷宮、熱田神宮の式年造替などや、伊勢志摩サミットも相まって、神道の「自然と共生」する日本文化が、日本に関心を寄せる世界の人々に注目され、また「ご朱印ブーム」も神社や寺院へ関心を寄せるきっかけとなりました。

本荘では、平成二十九年に「本荘雨乞い踊り」が本荘の歴史を語

る会の尽力によって一世紀ぶりに復活しましたが、『教育基本法』の改正がなければ、小学校や地域の方々のご理解やご協力を得ることは出来なかつたと思います。

令和に入り、新型コロナウイルスという未曾有の悪しき疫病が世界の国々始め、広く国内に蔓延し、連日の感染者増加の報道に、何時終息するのか、不安な日々が続いています。

世間では、「アマビエ」がもてはやされ、大きな神社でも「アマビエ」をデザインしたご朱印や絵馬を授与してところがありますが、「アマビエ」自体は妖怪であり、本来お祀りしている神々に関係ない物を神社で扱うことは「不敬」なことだと思えます。

年が明け、岐阜県では独自の「非常事態宣言」を发出し、愛知県と歩調を合わせて国に「緊急事態宣言」发出を要請、一都三県に加え、全国で七都道府県で発令致しました。

移動自粛が求められる今、精神的な拠り所として、郷里の身近な神社にすがりたいものです。

お正月は「密を避ける」ため、神社本庁は「分散参拝」や「幸先詣」を推奨し、正月三が日、大きな神社の参拝者数は激減する一方、本荘神社では、大晦日の夜間の参拝は、例年行われる御神酒や、豚汁の振る舞いがなかつたこともあつて少なかつたですが、日中は変わらぬお参りを頂きました。

新型コロナウイルススワクチンの接種が春頃から始まりますが、猛威が早期に沈静化しますと共に梅や桜の開花と共に、沈んだ気持ちをも吹き飛ばしましょう。

春祭では、例年と変わらぬ賑やかな祭礼の光景がみられ、神輿渡御、屋台巡行、神事芸能等が恙なく行われることを期待致します。

丑年に因んで、モト一步、モト一步と、確実に歩みを進め、夫々の目標に邁進し、皆様方にとりまして、晴れやかな良き年の美まし年となりますことを、心からお祈り申し上げます、年頭のご挨拶と致します。



**阿部選手VS丸山選手
「世紀の一戦」から学ぶこと
いちだクリニック 市田 正成**

令和二年十二月十三日、日本柔道界にとって、歴史に残る名勝負が行われました。

皆さんもまだ記憶に新しいことと思いますが、阿部一二三選手と丸山城志郎選手の東京五輪代表を賭けた世紀の一戦です。ユーチューブでの生中継は、視聴者数が三十七万を超えた程の関心の高さでした。

後世に語り継がれるであろうこの二十四分にも及ぶ死闘に、多くの国民が感動と勇気を与えられました。

コロナ禍で、幾つもの試練を乗り越え、ようやくこの決戦の場にたどり着いた両選手のプレッシャーは計り知れないものがあつたことでしょう。稽古も、組み合うことも声を出すことも制限され、試合直前までマスク着用、試合中も何度も何度も消毒液で畳を拭く等、異例づくめの運びとなりました。

この東京五輪内定選手決定戦を裁くことになった主審の天野安喜子さんは、日本女性初の五輪決勝の主審を務めた経験者で、「過去数多くの試合で審判をする中、畳に上がるまでに平常心を保つための精神的コントロールは出てくるもの、今回は特に気迫に満ちた対戦でした。

私自身はそれ程緊張しているという意識はなかったつもりですが、それでも神経が本当に参ってしまったようで、翌朝起き上がることが出来なくなっていました「そんなコメントを出しておられます。審判員でさえも、精根尽き果てる程の凄まじい名勝負だったということです。そして現在でもこの世紀のワンマンチの映像は、道場の指導員の先生方によって、柔道を学ぶ多くの子供達に「技術・精神ともにまさに世界一の戦い」として連日観返されていくそうです。

柔道に限らず、様々なスポーツの試合が中止になる中、夢や希望を見失った子供達にもう一度モチベーションアップ出来るよう

我々大人が知恵を出し合わなければなりません。ある柔道部の監督が「優先順位が一番は命を守る行動。稽古を出来ない時は出来ないの練習方法を各自で考えて、いざ出来るようになった時の準備をしておこう。今、しっかりと準備をしたものが必ず報われる」そう言って部員達の心に火をつけた結果、生徒達は組み合う稽古の上での稽古は出来ずとも、それぞれがフェイスシールドを着用し、黙々と筋力トレーニングに励み、みごと男子団体戦の部で優勝しました。

「生徒達がコロナ禍をバネにして成長出来たことが何よりも嬉しい」と言っておられました。世の中で、理不尽なことは沢山あります。

しかし、それをバネに更に成長出来るよう教え導くことの出来る指導者のもとで学べる子供達は幸せです。「最強の敗者」として名を馳せることになった丸山城志郎選手の恩師も、試合が終わった直後に「次の戦いは始まっている。まだ、夢は終わってわけて

ではない。城志郎、ここからだ！」と激励し、丸山選手もこれに答えて「僕の柔道人生は終わっていない。これからも諦めずに前を向いて、精神的にも肉体的にも強くなるように精進していく」と既に二十四年バリ五輪に挑む意欲を示したのです。

確かに柔道の神様は、今回は阿部一二三選手に微笑みました。しかし今の世の中、何が起るかわかりません。ましてやコロナ禍で、オリンピックが無事開催されるかどうかも決まっていません。それでも、腐らず前を向いて将来柔道家を目指す子供達の良きお手本となつてほしいものです。

これからも、子供達に夢を与え続ける存在のひとりとして、最強の敗者には必ず素晴らしいギフトを神様が用意しておられるのではないかと期待しています。そこに、どんなドラマが生まれるのか、今から楽しみです。

おります。

半世紀、回り道をして辿り着いた、心の聖地「本莊神社」
(株) 酒井設計事務所
酒井 稔

私は本莊に生まれ本莊に育ちました。しかし地元には全く興味がありませんでした。建築家を志した頃から各地を旅し街並みや建築を巡り続けました。そしてある年訪れたインドのブツダガヤで、自分の中に何かが大きく響き、その後「祈りの場」に惹かれるようになりました。



出雲大社神迎神事



沖ノ島の上陸直前のみそぎ

ヨーロッパの教会やモスク、中国の寺院、モンゴルの石碑、ミャンマーのパゴダ、ネパール河川敷の葬送場ヒマラヤ山岳信仰の街…日本の信仰の場所も巡りました。

伊勢神宮、出雲大社の神迎神事、高野山…その中でも、福岡県宗像大社沖津宮の御神体である「沖ノ島」に上陸参拝した事は一生忘れられない思い出です。

小さな漁船に乗り長時間波に揺られ女人禁制の島に渡ります。島に上陸直前、男たちは海に裸で入水し身を清めなくてはなりません。

世界遺産に登録された今では、もう二度と行けない場所になってしまいました。が、当時、一年に一日のみ、限られた人数制限の狭き門をくぐり抜けて、貴重な経験が出来たことは生涯の宝となりました。

こうして興味の赴くまま多くの旅を続けていた、ある日、ふと「本莊神社」に自然に足が向いて立ち寄ったのです。



玄界灘

古代の巨岩祭祀が奇跡的に残る神域に入ると身体が震えました…島ごと国宝と言われる場所の力が伝わります。神事の後、山頂まで駆け上がり、玄界灘を一望し「空海」の心を想像しました。

恥ずかしながら、それまで一度も来たこともなく、その日が初めての参拝だったのです。美しく掃き清められ、きちんと手入れされている社は、とても気持ち良く、やさしい風が吹いていました。

「こんな場所があったんだ」と感動しました。遠いところばかりに目を向けていて、近所にこんな落ち着く聖地があったことに気づいたのです。年齢の影響かもしれませんが、コロナ禍で旅が制限されるようになると、この存在はとて有り難く貴重です。心の持ち方を変え、結界をまたぐだけで、別の世界に身を置くことができることも知りました。

これも全て神社をお守り頂いている皆様様の陰です。どんな相談にも、気軽に乗ってください。今津宮司様には感謝に尽きません。

コロナ感染が収束し、またあの楽しいバス旅行が再開される日を楽しみにしています。今後とも、どうぞ宜しくお願いします。



初めてのしめなわ作り教室
を開催
保存会副会長
伊藤 精一

令和二年十一月二十九日(日曜) 午前九時三十分より正午頃まで、「本莊神社しめなわ作り教室」を社務所にて初めて開催しました。

このしめなわ作り教室を開くにあたり、宮司さんと、役員の方野さんの立案から始まりました。私たちが保存会の者が連絡を受けたものの、どのように進行し、指導するのか、「しめなわ」と言ってもいろいろな形式があるので、何を作るのか。そして、一番心配なのは、とれだけの参加者があるのか、どのような組み合わせで参加されるのか、想像もつかず、不安で不安で、いろいろなことを考えて、考えるほど、自信がなくなってきました。

それから期日が迫ってくると、どうしてもやり遂げ、成功させるとの意欲が湧き上がり、保存会の人たちに二度、三度と打合せを行いました。その結果、①参加者には何か一つ土産を持って帰ってもらう、②出来る



限り簡単なものに参加者の興味深いしめなわを作る、③初めての対面であるため、お互いに緊張気味のため、一般的な話から入ってゆき、以後しめなわの見本を示し、その後手取り足取り徐々に指導に入る、と考えました。

当日は、早々から親子連れの参加者が集まって、午前十時近くになると、三十名以上の参加者となり、私たち指導者も多くの参加者にはびっくりしました。

今回の場合、指導者が少なく、しめなわの意味、つくり方について十分な説明も出来ず、参加者の方には申し訳なく反省するばかりです。しかし、時間が過ぎるにつれ、皆さんとの対話、笑顔が見え始め、大変良い雰囲気になってきました。予定していた時間も少なくなり、「もう少し延長してほしい」、「近日中に再度しめなわ作り教室を開いてほしい」と私たち指導者に変な嬉しい言葉を頂き、勉強になりました。



終了後、反省会を行いました。①今後、しめなわ作りが出来る人材を育てる、②来年は、今日以上に

参加者を増やし、私たちもより良い案を出す、③参加してくれた人たちに満足感をもって今後もしめなわ作りや、神社参拝に興味を持って頂くことが大事。

追伸

①初めてのしめなわ作り教室を開き、宮司さん、浅野さんの考え方を進め方に、私たち保存会が協力させて頂き、満足感一杯です。
②初めての立案で、大勢の参加者があり、大成功でした。

県岐阜商高 硬式野球部
必勝祈願参拝



令和三年一月十日に、県立岐阜商業高等学校硬式野球部の鍛冶舎巧監督、高木主将ほか選手、父兄など

総勢八十名の皆さんが「必勝祈願」のため、当社に参拝されました。県岐阜商高の硬式野球部の皆さんが参拝されるのは、令和元年より三回目となりました。

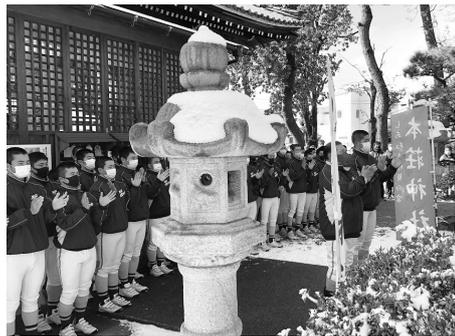
そもそものご縁は、社会人野球の日本通運(株)の方が当社にお参りし、県主催のベールスポーツ杯を制したこと、地元の本荘スポーツ少年団野球部が毎年参拝し、優勝したとの話からと伺いました。

昨年は、選抜出場が決まっていたものの、新型コロナウイルスの影響により、大会そのものが中止となり、夏の甲子園大会も中止され、選手の方々にはつらい一年でした。そうした中、昨春秋の県大会を制し、続く東海地区大会で準優勝を果たし、今春開催の第九十三回選抜高校野球大会への二年連続、第三十回めの出場を果たします。

当日は、拜殿に監督、コーチ、高木主将以下主力選手、宇佐美保護者会長など、「密」にならない人数が入り、他の選手や保護者は外での参拝となりました。

宮司のご折袴に続き、関係者の玉串拝礼が行われ、ご折袴後に「しあ

わせ祈願の宮」にて一同揃って参拝されました。

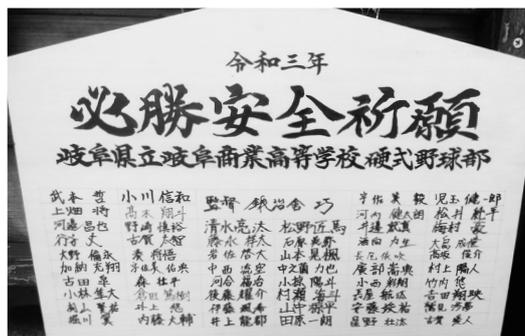


県岐阜商の皆さんは、年末の十二月十六日にも、全員で「御礼参り」に来られました。

当社では、役員の方々と相談し、A3サイズの「特製絵馬」を新たに作り、「必勝祈願」でお越しの際にお持ち頂くようお渡しした絵馬をご祈禱の後、拜殿の絵馬掛けに設置しました。

なお、参拝の記事が、中日新聞と岐阜新聞のいずれも県内版に掲載され、その記事を見て本荘神社の事を知ってお参りされた方もいらっしゃると思います。ありがたい効果だと思えます。

県岐阜商高硬式野球部の皆様のご健闘をお祈り致します。県の代表校でもありますので、皆様方の応援をお願い致します。



本荘神社の左義長に参加して
総代 竹中 浩一

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。左義長に参加しましたので、一筆書かせていただきます。朝十時に、本荘神社に関係者が集まり、集められた正月のお飾りなどを整理しました。柱を短く切ったものを、土台とし、

それを組み合わせて土台を作りま
した。土台の上にしめ縄などの正
月の飾りを積み重ねてゆきました。
あとは、祭壇や三方に神饌をのせて
準備が整い、正午に神事が始まりま
した。

幸いにも、天候に恵まれ、穏やか
な天候でした。

お祓いは三十分程で終わり、集め
られたしめ縄に火が灯されました。
左義長はどんと焼きなども呼
ばれ、出雲方面の風習が発祥である
うと考えられております。

どんとを爆竹とあてて記述する
文献もあります。



火で焼いた餅を食べる、しめ縄な
どの灰を持ち帰り自宅の周囲にま
くと、その年の病を除くと言われ
ております。

点火されたしめ縄は、みるみる燃

え上がり、関係者が火の番をして、
午後四時まで火を燃やして、終わり
となりました。

左義長の最中は、多くの参拝者が
来社され、用意した餅を焼く金網で
みなさん、餅を焼いていかれました。
コロナ退散、皆様の無病息災、家内
安全を祈りたいものです。

左義長を最後として、大晦日から
はじまりました、一連の正月行事が
終了しました。

左義長を持って終わりの正月行事

《御朱印対応について》

ご希望の方は、土曜・日曜・祝
祭日に神札御守授与所までお越し
下さい。



御朱印料は、三〇〇円です。

《祭典日限定御朱印授与》
ご希望の方は、左記の祭典日に
お受け下さい。

| | | | | |
|---|--|-------------------------------------|--|---------------------------------------|
| 奉納 御朱印 1月1日-3日 初詣 【期間限定】 | 奉納 御朱印 1月14日 左義長神事 【左義長期間】 | 奉納 御朱印 2月17日 祈年祭 【期間限定】 | 奉納 御朱印 4月4-5日 例祭 【特神神楽 期間限定】 | 奉納 御朱印 7月第1土曜日 夏越祭 【期間限定】 |
| <p>【祭典日限定御朱印】 上記の日に授与する 「書き置き」の御朱印です。 初穂料 300円 ※日、「限定御朱印」とお申し出 下さい。</p> | | | | |
| 奉納 御朱印 9月最終日曜日 奉幣祭 【期間限定】 | 奉納 御朱印 11月23日 新嘗祭 【期間限定】 | 奉納 御朱印 毎月第1土曜日 月次祭 | | |

御朱印料は、三〇〇円です。

《月次祭・限定御守について》



月次祭限定・桐箱入り「結縁守」

当社では、月次祭に神前に供え祈
願した特別な「結縁守」を当日のみ
の限定で授与しております。御祭
神・素盞鳴尊は縁結びの神様として

良く知られ、また本莊神社の四方の
神々とのご縁を結び、しあわせを祈
る御守です。

初穂料 金一、〇〇〇也
月次祭当日、社務所で授与しま
すのでお願い致します。

行事・お知らせ

- ◎一月以降の行事
- 月次祭 毎月第一土曜日
午前十時 齋行
- 祭典後、「学べる神社講座」
- 恒例祭典
- ・祈年祭 二月十七日 午前十時
- ・例大祭 四月 五日 午前十時
- ・巫女舞奉納※
- ・夏越祭 七月 三日 午後五時
- ・巫女舞奉納※
- ・子供会行灯奉納
- ・模擬店開店※
- ・奉幣祭 九月二十六日 午前十時
- ・献幣使参向、銀幣奉献
- ・新嘗祭

十一月二十三日 午前十時
神宮天麻本莊神符頒布始
※コロナ禍終息した場合に実施

ご祈祷受付について

○ご祈祷を受付致します。
ご祈祷料 一件 五、〇〇〇円

- ・家内安全
- ・商売繁盛
- ・交通安全
- ・厄払い
- ・初宮参り
- ・良縁祈願
- ・病氣平癒 など

ご祈祷を希望される方は、予め、
日時を神職とご相談の上、ご予約
下さい。

当社では、お一人ずつご祈祷致
します。
○出張祈祷について 一件 二万円

- ・地鎮祭
- ・竣工祭
- ・工場安全
- ・事業繁栄
- ・開店祝い など

出張祈祷を希望される方は、予
め社務所に神職と日時等打合せ
て申し込みをお願い致します。
土曜・日曜・祝祭日に社務所に
出勤しております。

令和3(2021)年 厄年表

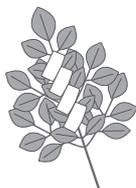
| 男 性 | | | | 女 性 | | | |
|-----|------------|-----------------|-----|-----|------------|-----------------|-----|
| 厄 | 年 齡 | 生まれ年 | 干 支 | 厄 | 年 齡 | 生まれ年 | 干 支 |
| 本 厄 | 25歳 | 平成9年 (1997) | 丑 | 本 厄 | 19歳 | 平成15年 (2003) | 未 |
| 前 厄 | 41歳 | 昭和56年 (1981) | 酉 | 前 厄 | 32歳 | 平成2年 (1990) | 午 |
| 本 厄 | 42歳 | 昭和55年 (1980) | 申 | 本 厄 | 33歳 | 平成元年 (1989) | 巳 |
| 後 厄 | 43歳 | 昭和54年 (1979) | 未 | 後 厄 | 34歳 | 昭和63年 (1988) | 辰 |
| | | | | 本 厄 | 37歳 | 昭和60年 (1985) | 丑 |
| 還 暦 | 61歳 | 昭和36年 (1961) | 丑 | 還 暦 | 61歳 | 昭和36年 (1961) | 丑 |

※年齢は数え年で表記しています。

令和3(2021)年 年祝表

| 男 性 | | | | 女 性 | | | |
|-----|------------|-----------------|-----|-----|------------|-----------------|-----|
| 厄 | 年 齡 | 生まれ年 | 干 支 | 厄 | 年 齡 | 生まれ年 | 干 支 |
| 古 希 | 70歳 | 昭和27年 (1952) | 辰 | 古 希 | 70歳 | 昭和27年 (1952) | 辰 |
| 喜 寿 | 77歳 | 昭和20年 (1945) | 酉 | 喜 寿 | 77歳 | 昭和20年 (1945) | 酉 |
| 傘 寿 | 80歳 | 昭和17年 (1942) | 午 | 傘 寿 | 80歳 | 昭和17年 (1942) | 午 |
| 米 寿 | 88歳 | 昭和9年 (1934) | 戌 | 米 寿 | 88歳 | 昭和9年 (1934) | 戌 |
| 卒 寿 | 90歳 | 昭和7年 (1932) | 申 | 卒 寿 | 90歳 | 昭和7年 (1932) | 申 |

※年齢は数え年で表記しています。



本莊神社では、ご祈祷を受付しています。

1件、5000円申し受けます。《ご祈祷は予約制です。》

予約受付 毎週土曜・日曜・祝祭日 社務所まで

[しあわせ祈願の宮 本莊神社]

